

平成28年7月20日現在

	木	金
	小 野 史 朗 (循環器内科)	國 近 英 樹 (循環器内科)
	塩 見 浩太郎 (循環器内科)	
	赤 川 英 三 (循環器内科)	加 藤 孝 佳 (循環器内科)
樹 (科)	今 井 剛 (腎臓内科)	渋谷 正 樹 (循環器・腎臓内科)
	村 木 和 彦 (糖尿病・血液内科)	藤 田 直 紀 (糖尿病・血液内科)
浩	* 輪 番 制	白 石 龍 (消化器内科)
生 師 ()	* 非常勤医師 (午前9時～午後0時)	* 非常勤医師 (午後2時～)

医療機関の先生方へ * 印は非常勤医師

地域連携室	患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。	《用語の解説》 ☆完全予約制…事前に予約をお取り頂くことが必要な外来 ☆完全紹介制…医療機関からの紹介（紹介状の持参）が必要な外来 ☆完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来
	予約受付（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時） TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357 E-mail:renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子	

✎「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

平成28年8月10日発行

済生会山口総合病院
〒753-8517 山口市緑町2-1
TEL 083-901-6111(代表)
FAX083-921-0714

Life

発行：地域連携委員会 広報チム

発行責任者：院長 城 甲 啓 治

〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2016年 8 月号

●●● お盆も通常通り診療いたします ●●●

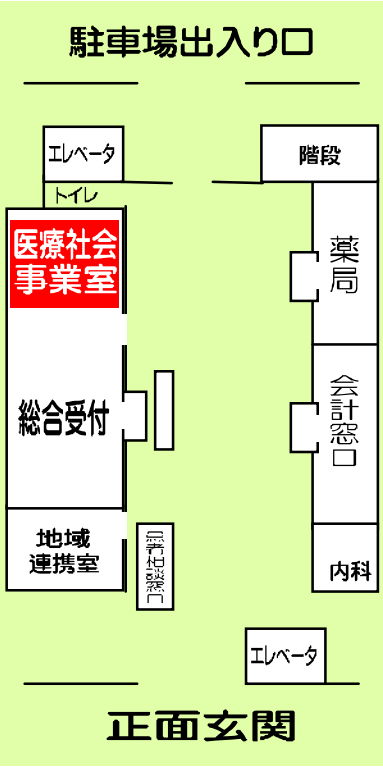
医療社会事業室 石井 美恵

この事業は、生活困窮者の方などに「無料または低額の料金を診療を行う事業」であり、済生会創立の原点である「無償で医薬を施し、それによって生(いのち)を救(すく)う」に直接つながる事業です。

当院では、医療社会事業室が相談窓口となっています。手続きの方法は、直接当院にて相談される場合と関係機関（生活保護担当課、地域包括支援センター、社会福祉協議会、男女共同参画相談センターなど）を通して相談される場合の2通りがあります。

まず、直接相談される場合は、医療ソーシャルワーカー(MSW)と面談を行い、医療費減免申請書を記入してもらいます。その際に世帯全員が記載された住民票と世帯全員分の所得証明書の提出が必要となります。その後、審査を行い診療費の減免を決定します。次に、関係機関を通して相談される場合は、相談先の機関から減免診療相談券と医療費減免申請書を発行してもらいます。その後、医療ソーシャルワーカー(MSW)と面談を行い、診療費の減免を決定します。

今後は、治療と同時に患者や患者家族を取り巻く複雑な生活環境を含めた支援が求められていきます。



平成28年7月1日付

外科部長

佐藤 正史

(心臓血管・呼吸器外科)

当院に新しく入職した医師をご紹介します!

《ひとこと》

心臓血管外科を担当しております。患者さんに分かり易い、患者さんにやさしい（低侵襲）をモットーに取り組んでおります。

理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

医療費に関する
ご相談をお受けしています

当院では、社会福祉法にもとづき、生計困難者に対して、無料または低額の費用で適切な医療を受けていただけるよう支援を行っています。

患者さんの権利

ご相談窓口 医療社会事業室
TEL 083-901-6268(直通)

おしっこの話

泌尿器科部長 伊藤 英明



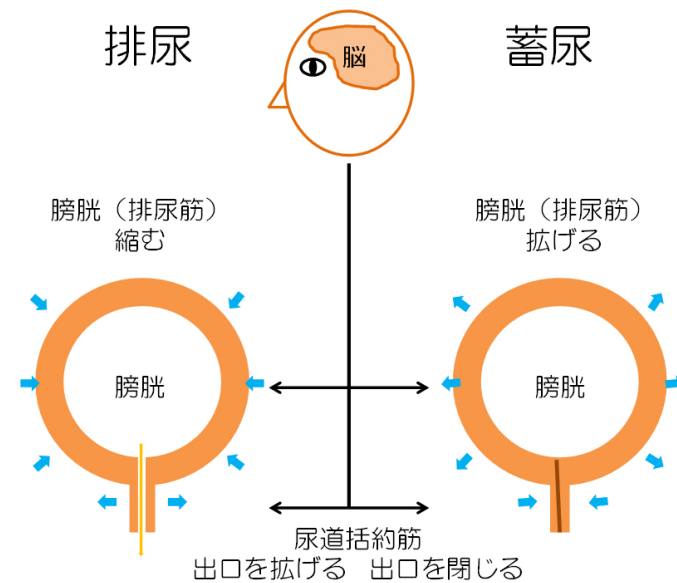
正常な排尿とは、1回300～400mL、30秒前後で終わります。イメージとしては小型のペットボトル（500mL）の水がだいたい30秒くらいで出る感じです。排尿間隔は3～5時間に1回くらいです。

尿をためる時（蓄尿）は、膀胱（排尿筋）はゆるみ、尿道出口の括約筋は収縮します。おしっこが溜まっていくと、外に排泄するために「トイレに行きたい!」という信号が脳に送られます。これによって尿意が引き起こされ、膀胱（排尿筋）が収縮し、尿道出口の括約筋が広がりおしっこが出ます（排尿）。

排尿障害（頻尿、排尿困難、尿失禁など）とは、膀胱の蓄尿と排尿のいずれか、もしくは両方が障害された状態です。

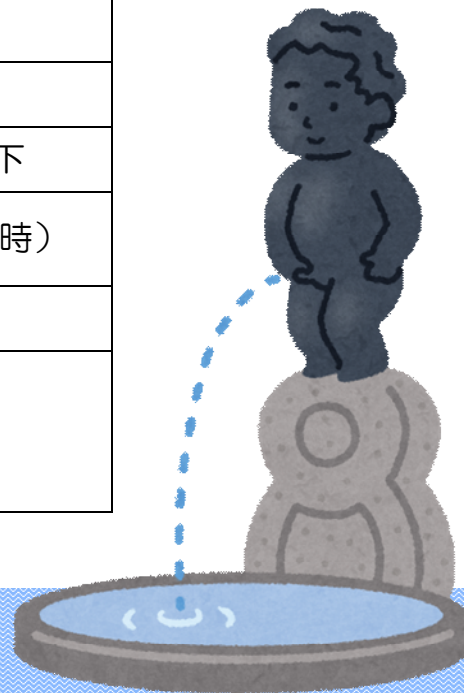
原因として、糖尿病、前立腺肥大症、前立腺癌、尿道狭窄、便秘、過活動膀胱、腹圧性尿失禁、膀胱脱、脳神経疾患、膀胱炎などの尿路感染症、膀胱結石、薬剤性等とさまざまな事が考えられます。

近年、新しい治療薬や手術方法の改良等あり、以前に比べると治療選択も増えてきています。何か気になる症状があればお近くの泌尿器科を受診してみてください。



正常な排尿

1 回 の 量	300ml ～ 400ml
排 尿 の 時 間	10秒 ～ 30秒
排 尿 回 数	日中4回 ～ 7回 夜間1回以下
排 尿 間 隔	3 ～ 5時間に1回（起きている時）
色	薄い黄色から透明
そ の 他	薄い、不快感、残尿が無い 1時間は我慢できる したくなくても出せる



知って得する
知っ得
情報!!

臨床検査部より

ABC 検診について

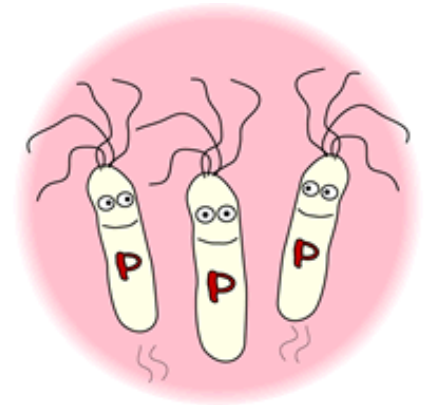
ABC 検診とは血液検査で、①ヘリコバクター・ピロリIgG抗体と、②ペプシノゲン（胃粘膜萎縮度）を調べ、その結果を組み合わせることで胃癌のリスクをA～Dの4群に分類して評価する検診項目です。

①ヘリコバクター・ピロリIgG抗体検査とは

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。この菌は、胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引き金になると言われています。

②ペプシノゲン検査とは

胃粘膜の老化（萎縮）の状態を調べる検査で、胃癌検診にも応用されています。萎縮が進むほど胃癌になりやすいと言われてます。



以下がヘリコバクター・ピロリIgG抗体検査でピロリ菌感染の有無とペプシノゲン検査で胃粘膜萎縮度を調べ、その結果を組み合わせる分類となります。A群は正常ですが、B、C、D群の順に胃癌のリスクは高くなりますので注意が必要です。



A群

健康的な胃粘膜です
健康的な胃粘膜で、胃疾患の危険性は低いと考えられています。



B群

少し弱った胃粘膜です
消化性疾患などに留意する必要があります。念のため、内視鏡検査を受診しましょう。異常が見つからなくても3年に1回を目安に内視鏡検査の受診をお勧めします。



C群

弱った胃粘膜です
胃疾患の高危険群と考えられます。一度、内視鏡検査を受診しましょう。2年に1回程度の内視鏡検査をお勧めします。



D群

かなり弱った胃粘膜です
必ず、内視鏡検査を受診しましょう。異常が見つからなくても、1年に一回程度の胃内視鏡検査をお勧めします。



敷地内全面禁煙のお知らせ

平成27年8月1日より、喫煙・受動喫煙による健康被害を防ぐために病院敷地内全面禁煙（建物内・駐車場及び車内を含む）を実施しております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。